



# 岐阜北週報

1月 職業奉仕月間

□ 題 字	松野 秀計	□ 会 長	松野 秀計	
□ 例 会	毎週水曜	□ 副会長	永瀬 章	2015-2016
□ 会 場	岐阜都ホテル	□ 幹 事	小泉 宣昭	No.1614
		会報委員長	川崎 賢二	16.1.20発行

前回の記録	本日の予定	次回の予定
第 1613 回 例会 1/13 (水) クラブフォーラム (5) 100万\$  担当：職業奉仕委員会	第 1614 回 例会 1/20 (水) 卓話 (5) 笑いは、健康の源 卓話講師：茂益亭 蝶代 (清水 美恵子) 様  担当：岡田忍・林会員	第 1615 回 例会 1/27 (水) 臨時総会 (補正予算承認・次年度委員会 構成発表) 100万\$  担当：会長・幹事・会長エレクト

## 会長挨拶



みなさん、こんにちは。

本日はまず初めに皆様に残念なお知らせがあります。

昨年末12月31日付で水川会員より退会届が提出されました。年末年始にかけて慰留に努めましたが、本人の意思が固く、また水曜日にも仕事が入り殆ど例会にも参加出来ない状態だそうです。小島会員にもお願いし話をさせていただきましたが、今回ばかりは難しいとのこと、先週の理事会で審議し、退会のはこびとなりました。とても残念であります。

正月早々風邪をひき寝込んでおりましたので、この連休ようやく初詣に行っていました。さすがに伊勢神宮までは行けなかったのですが、私が商売を始めてから、なにかあるといつもお参りに行っている鈴鹿の椿大神社に行っていました。

## 会長挨拶 続き

さすが有名どころだけあって、まだまだ沢山の人が参拝して見えました。

皆さんは初詣は行って見えましたか？

岐阜市には岐阜三社といって由緒ある神社がありますがご存知でしたか？

まず第1に皆さんご存知の伊奈波神社です。こちらはお父さんの神様です。次に金神社。こちらはお母さんの神様。最後に檀森神社です。こちらはその子供にあたる神様が祭られています。よって、この三社には夫婦とその子供の神様が祀られておりますので、三つ廻ると家族の絆が生まれると言われております。

皆さん、是非家族でお参りしてみてください！

## 出席報告

会員数：32名

出席数：26/32名

出席率：81.25%

欠席者：6名 (出席免除2名 87.50%)

来訪者：箕浦 洋和様 (岐阜長良川 RC)

## 委員会・同好会報告事項 (敬称略)

・原尾 増強委員長

2月10日(水)に第2回夜間例会を開催致します。オブザーバーの方は会費無料ですので、ロータリーに興味のある方がいらっしゃいましたら是非、声を掛けて頂きます様お願い申し上げます。

## 幹事報告事項

ポリオ撲滅新春コンサートのチケットが届いております。欲しい方がお見えでしたら、お声をお掛け下さい

## 例会行事（敬称略）

・ 谷田 職業奉仕委員長



R1第2630地区 岡田信春ガバナーの「職業奉仕月間」によせて（※別紙添付）を受けて自分の会社に置き換えて、職業奉仕をどの様にしているか考えると、食品製造において、やたらに利益を追求しない。それは、原料には、ランクが有り、安い物でも、高い物でも、出来上がりの見た目は、同じ物になります。その中でいかに美味しく食べやすい物をお客様に提供する為に、原料の吟味、技術の向上を社員と共に考えております。利益の追求ばかりでは無く、少しでも、お客様の為に、美味しく、より良い物を提供するという事が職業奉仕の中の一つの形ではないかと考えます。

## 次回例会のご案内

第1615回 例会 1月27日（水）  
臨時総会（補正予算承認・次年度委員会構成  
発表）100万\$  
担当者：会長・幹事・会長エレクト

会報・広報 1月担当 林 隆行

## 資料

## 『職業奉仕月間によせて』



2015-16年度  
RI第2630地区ガバナー

岡田 信春

皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。本年もよろしく願いいたします。

さて、今月は職業奉仕月間です。先輩諸氏から「職業奉仕は、ロータリーの原点であり基本である」と教わってきた会員も多いことでしょう。ところで、職業奉仕とは一体どのような概念なのでしょうか？

RI奉仕担当部が作成した「職業奉仕入門」の冒頭は、「職業奉仕を明確に定義することは簡単ではありません。」の文言で始まっています。そして、職業奉仕は、「職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること」を土台としている旨の説明がなされています。表現が少々抽象的で難しいですね。迷ったときは歴史に学びましょう。職業奉仕の理念を生み出したシェルドン氏の時代にさかのぼってみましょう。

ロータリークラブが創立された20世紀初頭のシカゴは、無秩序な自由競争のもと、資本家が労働者を搾取し、顧客や同業者をだましてでも金もうけに走る、職業倫理など無縁の殺ばつとした世界でした。そのような時代であったからこそ、心を許せる、信頼して取引のできる仲間同士が集まり、ロータリーが生まれたのです。当初のクラブ定款には、「第1節・

会員の事業上の利益の促進、第2節・会員同士の良き親睦」と記されているのみで、奉仕の概念はありませんでした。会員同士の互惠取引中心の、どちらかといえば閉鎖的な組織だったのです。

そこに、職業奉仕の理念を導入したのがシェルドン氏でした。氏の奉仕理念は、事業を継続的に発展させるためには、自分のもうけを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図をもって事業を営む、すなわち会社経営を経営学の実践だととらえ、さらには資本家が利益を独占するのではなく、従業員や取引先の人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だと考えたのです。やがて世界恐慌が起こります。それまで職業倫理など無視して稼いでいた多くの事業者が次々と倒産していく中、ロータリークラブに所属している企業の多くが生き残り、ロータリーの評価が一気に高まりました。

そして、その職業奉仕の理念は、100年の永きにわたり、ロータリアンに大切に受け継がれてきたのです。どうか素直な気持ちで、今一度職業奉仕の理念を見つめ直し、各人なりに日々実践を心がけてください。ではどのように？

まずは、例会に出席することです。「ロータリーの例会は人生の道場」です。クラブには、職業を通じて貴重な経験を積まれた会員が大勢います。親睦を深め、卓話を拝聴し、諸活動に参加することで、職業繁栄の極意を、そして生き方のヒントを会得できる機会に恵まれるはずです。悪事については「見猿・聞か猿・言わ猿」で結構ですが(笑)、良いことは積極的に吸収・発信してまいりましょう。

本年も、皆さんにとって実り多い一年になりますよう祈念いたしております。